



各 位

会 社 名 株式会社フェローテックホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 山 村 章
 (J A S D A Q ・ コード 6 8 9 0)
 問 合 せ 先 執行役員 IR 室長 佐 藤 昭 広
 (0 3 - 3 2 8 1 - 8 1 8 6)

半導体シリコンウェーハ再生事業の設備投資の決定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記の通り、中国における半導体シリコンウェーハ再生サービス事業における設備投資について決議しましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 設備投資の決定に至る経緯および理由

当社は、2019年8月30日付「中華人民共和国における半導体シリコンウェーハ再生事業の新会社設立に関するお知らせ」にて公表しました通り、当社中国子会社の上海申和熱磁電子有限公司（以下、「FTS」といいます。）と中華人民共和国安徽省銅陵市政府（以下、「銅陵市政府」といいます。）との共同出資で、半導体シリコンウェーハの再生サービス事業参入のための新会社、安徽富樂徳長江半導体材料股份有限公司（以下、「FTASM」といいます）を、安徽省銅陵市に設立しました。その後、社内にて本事業に関する精査を行ってきた結果、今般下記の理由から本設備投資（第一期）を行うことを決定しました。

<投資決定に至った理由>

- ◇ 中国における 300mm ポリッシュドウェーハ市場の成長と共に、再生ウェーハ需要は拡大基調にある一方、300mm 半導体シリコンウェーハ再生事業者数はグローバルでも限られており、かつ米国、日本、台湾などに集中していること。
- ◇ 当社のこれまで培った半導体ウェーハ研磨技術や精密部品再生洗浄技術が再生ウェーハ事業に転用できること。
- ◇ 当社の半導体ウェーハ事業や精密部品再生洗浄事業の顧客と本再生ウェーハ事業の顧客が重複する為、クロスセルによる既存事業とのシナジーが期待できること。
- ◇ 本再生ウェーハ事業のキー・プロセスである使用済ウェーハの被膜除去工程※において、技術の確立の目途が立ったこと。

※ 再生ウェーハの工程については、別添の「ウェーハ再生の一般的なプロセス」をご参照。

2. 設備投資の概要

(1) 設備投資の内容	再生ウェーハ工場建屋、内装（クリーンルーム含む）、附属設備、専用装置（研磨、洗浄、検査、測定各装置）
(2) 投資額	約5億人民元 ※設備投資及び一部運転資金を含みます。 (日本円換算：76.5億円 ※為替レート 人民元 = 15.3円)
(3) 所在地	中国安徽省銅陵市金橋経済開発区内
(4) 敷地面積	約50,000㎡ ※工場延べ床面積は、約40,000㎡
(5) 生産品目	半導体シリコンウェーハ再生サービス
(6) 資金調達方法	FTS、銅陵市政府系ファンドによる出資金にて調達の予定。
(7) 今後のスケジュール	2019年 9月 銅陵市政府との投資協定締結、FTASM 設立 2019年 10月 着工

	2020年	9月	竣工
		12月	設備搬入、据付、テスト
	2021年	1月	試作、顧客認証開始
		4月	量産開始
	-	第一期のラインとして、月産 65 千枚の再生ウェーハ(300mm)生産ラインの体制を構築。	
	-	その後、段階的に生産枚数を拡大し、最終的に月産 200 千枚の生産体制を構築予定。	

3. 今後の見通し

当社の 2021 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

[別添]

<当該子会社の概要>

(1) 名 称	安徽富樂徳長江半導体材料股份有限公司 (FTASM)	
(2) 所 在 地	中国安徽省銅陵市金橋經濟開發区内	
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 賀 賢漢	
(4) 事 業 内 容	半導体ウェーハの再生サービス	
(5) 資 本 金	5 億人民幣元* (日本円換算 : 76.5 億円 *為替レート 人民幣元= 15.3 円)	
(6) 設 立 年 月 日	2019 年 9 月	
(7) 大 株 主 及 び 持 ち 株 比 率 *	<ul style="list-style-type: none"> ・上海申和熱磁電子有限公司 (FTS) 3.5 億人民幣元 (70%) (内、1 億人民幣元は現金出資、2.5 億人民幣元は 3 年以内の現物出資) ・銅陵發展投資集團有限公司 (銅陵發投) 0.75 億人民幣元 (15%) ・銅陵市建設投資控股有限責任公司 (銅陵建投) 0.75 億人民幣元 (15%) *銅陵發投、銅陵建投は銅陵市が運営するファンドです。	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社が 100%出資している上海申和熱磁電子有限公司、及び銅陵市政府の共同出資による孫会社となります。
	人 的 関 係	該当事項はありません
	取 引 関 係	記載すべき取引関係はありません。

* 現状決定している最終的な資本金金額及び持ち株比率です。

<ウェーハ再生の一般的なプロセス>

1	受 入 検 査	ウェーハ受入れ、目視検査
	↓	
2	被 膜 除 去	薬液による付着膜の除去及び洗浄、乾燥処理
	↓	
3	脱 膜 検 査	目視検査による残膜やウェーハ表面キズ等をチェック後、研磨量設定
	↓	
4	一 次 研 磨	設定研磨量にて一次研磨
	↓	
5	中 間 検 査	厚さ、平坦度、反り、抵抗率を測定し、ウェーハ種類 (P 型/N 型) を判定
	↓	
6	仕 上 研 磨	ウェーハを仕上げ研磨
	↓	
7	仕 上 洗 浄	パーティクル及び金属汚染を目的に多段の薬液洗浄・水洗い・乾燥
	↓	
8	最 終 検 査	目視検査、パーティクル検査、メタル分析
	↓	
9	包 装	製品ウェーハケースを梱包
	↓	
10	出 荷 検 査	全ての検査結果を確認し、検査成績書を発行 (出荷許可)
	↓	
11	容 器 洗 浄	原料入荷容器を洗浄し、再利用して出荷

* **被膜除去** の工程が、本再生ウェーハ事業におけるキー・プロセスとなります。